

# 「江府町まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」による 令和5年度地方創生事業の検証について

開催日 令和6年9月2日（月）

## 有識者

産	江府町商工会 会長	川端 雄勇
官	西部総合事務所 日野県土整備局副局長（江府町担当コンシェルジュ）	竹内 友徳
学	広島経済大学 准教授	加藤 博和
金	鳥取銀行根雨支店 支店長	上原 佑介
金	山陰合同銀行江府出張所 出張所長	原田 直樹
言	（株）新日本海新聞社 西部本社 営業局長	山本 晋

江府町 白石町長、八幡副町長、生田総務課長、影山

## 有識者からの意見

### － 全体評価 －

- 転出先・転出元の調査、転出理由を分析し、特に20代30代の転出阻止の対策を強化されたい。
- 以前に比べ飲食できる場所が増えている。自然に関する良い場所は多くあるので、飲食できる場がないといったイメージを変え、来訪者の次の導線を考えられたい。
- 宿泊事業者の都合はあるが、宿泊ができないから来られない人を逃すのはもったいない。近隣の宿泊施設と連携し、手数料を得るなど検討しても良い。
- 自然塾を広告塔として、移住定住やふるさと納税などにつなげられたい。
- 義務教育学校に町外からの転校生があるならば、さらなる魅力化で移住定住につなげることができないか。

### － 基本目標Ⅰ 新しい人の流れの創出 －

- ◆子育て環境満足度
  - 令和6年度中に遅滞なく評価を実施されたい。
- ◆空き家情報バンクの増加
  - 特になし
- ◆新たに整備した住宅等への世帯の転入
  - 特になし

◆住宅及び用地に関する相談件数

○相談件数は十分にある。相談ニーズに応じる施策を検討する必要がある。

◆ふるさと納税額

○「水」以外の返礼品を強化されたい。

○「水」を入口として、他の返礼品につなげるなど寄附者と江府町との関係性の継続を検討されたい。

○自然塾、木谷沢散策など体験事業の返礼品を強化されたい。

－ 基本目標Ⅱ 産業の創出 －

◆梨栽培面積

○新甘泉の栽培は期待できる。産地化と言えるまで更なる拡大を検討されても良い。

○収穫までの収入ギャップを埋められるようなことも検討されたい。

○収穫体験など来訪者の体験事業につながることも検討されたい。

◆繁殖牛飼育頭数

特になし

◆法人営農組織数

○営農法人は農業を守るために注力されたい。

◆地域内消費額

○地域経済底上げのため、地域振興券以外の具体策を検討されたい。

○消費者層のターゲットを絞り施策を打つのも必要。

◆チャレンジ支援事業累計利用者数

特になし

◆新規就農者数累計

○新規就農予定者が研修中ということで期待が持てる。

◆ジビエ加工品販売額

○販売額が増加しているので、さらなる可能性を分析され、伸びしろがあるなら支援をしても良いのではないかと。

◆道の駅奥大山来客者数

○集客が落ちている。増加に向けた具体策を検討されたい。

－ 基本目標Ⅲ 地域人財の育成 －

◆まなびや縁側（公設塾）の江府町出身者受講生徒数

特になし

◆将来は江府町に住みたいと考える児童・生徒の割合

○アントレプレナーシップ事業により町への貢献意識が高まっていることはわかるが、住みたいと考える割合も測定したいため、アンケートの取り方を工夫されたい。

○アントレプレナーシップ事業で農業体験など農業を考える機会をつくることで、将来の担い手育成や産業の創出につながる可能性は考えられないか。

◆奨学金返済支援制度累計利用者数

特になし

◆地域運営組織累計設立数

特になし